



発行
 県立加古川中学校
 県立加古川東高校
 清流会
 編集
 清流会文化委員会
 印刷
 丸山印刷株式会社



同窓生 3万名突破!!

清流会会長 大西 壯司 (高21回)



会員の皆様にはご健勝にご活躍のこ
ととお慶び申

し上げます。

平素は清流会活動にあたたかいご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。山口勝英前会長から引き継ぎをしましたが、まだ右往左往しているところ。会員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

さて、2月29日に卒業生を対象に清流会入会式、清流会表彰式が挙行されました。入会式におきまして、清流会についてお話しさせていただきました。卒業生全員に卒業記念の図書カードを配布しました。本年の卒業生で3万名を超える同窓生になりました。また、表彰式では、全校生徒の前で3力年の部活動

とその他で顕著な活動のあった生徒に対して表彰を行いました。その後清流会新入会員の各クラス代表との懇談会を持ち、再度清流会入会への説明をいたしました。4月8日には入学式が挙行され新たに360名の生徒が入学しました。おごそかな入場、

そして1人1人の名前が読み上げられ大勢の家族が見守る中、緊張した雰囲気でも式典が進行しました。新鮮さが醸し出された場に喜びがいっぱいあふれていました。

ここで、清流会の活動について報告致します。

9月に清流会ゴルフコンペ、1月にグランドゴルフ大会が実施されており年々盛況になってきております。清流会報もカラー化になり大変見やすくなったとの評判も聞いております。1月には清流会新年会を実施いたしました。新年会は学年幹事を中心に声掛けを行っており、連絡が不十分との意見にもかかわらず、積極的に会員の参加を求めべきとの意見が多かったように思います。改善点として検討していきます。

また各支部(東京、奈良、神戸、明石、姫路)の総会に本部から参加させていただいております。中で、支部の発展が本部の発展につながるの意見も多くあり支部への協力体制について、又新しい支部の設立も含めて議論を重ねて参りたいと思

3万人を超える同窓生になつてい
る現状から、どう新しい結びつきを
つくるのが大きな課題です。また、

母校の近況ご報告



清流会の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、

厚く御礼申し上げます。

四月十四日に発生した熊本地震により、熊本県を中心に多くの方が被災され、今なお余震が続く中、不安な生活を送っていらっしゃることに先ずはお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を願うばかりです。

さて、本校は平成二十四年度から二期目の文部科学省研究指定を受けたスーパーサイエンスハイスクール事業について、『Challenge The World』をスローガンに、グローバルな視点を持ち、人類の将来に貢献する科学者としての素養を身につけた人材を育成することを目標として取り組んで参りました。いよいよ最終年度を迎え、今秋には三期目の申請を行うことを校内では決定しています。文部科学省からは、SSHは

学校全体として取組む事業であるという指導があり、これまで理科中心で実施していた課題研究を普通科にも拡大するため、教育課程や学校行事の在り方の見直しを現在進めているところ。四月下旬には三年目となる台湾の国立女子高等学校の研修旅行団の訪問がありました。今年、英語での研究発表や部活動での交流に加えて、両校の生徒が英語でコミュニケーションを取りながら合同で課題に取り組む時間を設定しました。次年度以降もさらに交流を発展させて参ります。

清流会の発展が地域の活性化につながると思っております。最後に申し上げますが、同窓会費は「清流」の発行、支部総会、年次総会へのお祝い金、在校生や学校への教育環境整備支援に支出しております。会費の納入にご協力、そして総会などへの参加の声掛けもよろしくお願ひ申し上げます。会員の皆様の今後のご活躍をお祈りし、挨拶とさせていただきます。

校長 安本 直



長田高校の選抜高校野球大会出場の際に先行実施されて話題になりましたが、今年度から県立学校環境応援プロジェクト「ふるさとひょうご寄附金」制度が始まり、校名及び応援したい事業を指定しての寄附が可能になりました。本校ではアクティブラーニングに資するICT環境の整備や国際交流、部活動の充実・発展等で支援をいただければ幸いです。税控除の他、県立施設共通招待券・兵庫の特産品特典、ワンストップ特例等、様々なメリットもあります。詳細については同封のプリントをご覧ください。

最後に申し上げますが、今後とも、益々のご支援・ご鞭撻をお願いいたしますとともに、会員の皆様のさらなる発展をお祈りします。



平成27年度 清流会収支決算書

(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

叙勲・褒章・表彰のお祝い

各界で活躍されている清流会員で、叙勲、褒章、表彰などを受章された方々を祝意を込めて紹介させていただきます。(順不同、敬称略)

全ての情報が必ずしも事務局に寄せられているわけではありませんので、ご紹介できずに失礼していることがあると思います。

今後ご紹介を続ける予定ですので、情報をお寄せ下さるようお願いいたします。

<2015年秋の叙勲>

瑞宝双光章 後藤太原磨 (高11回)
選挙管理事務・地方自治

<2016年春の叙勲>

旭日双光章 田中 昌利 (高14回)
神戸信用金庫理事長

収入の部

決算額－予算額＝マイナスの時▲ 単位：円

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
1. 会費等収入	8,698,000	8,095,200	▲602,800	
卒業生会費	7,002,000	6,648,000	▲354,000	3,000円×2,216件 (前年度：6,801,000)
在校生会費	1,296,000	1,277,200	▲18,800	
特別寄付金	400,000	170,000	▲230,000	11件
2. 雑 収 入	1,500,000	1,458,576	▲41,424	総会、新年会、利息他
3. 前年度繰越	2,317,823	2,317,823	0	
合 計	12,515,823	11,871,599	▲644,224	

支出の部

決算額－予算額＝マイナスの時▲ 単位：円

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
1. 事 務 費	1,190,000	1,101,566	▲88,434	
事務手当	650,000	599,000	▲51,000	
消耗品費	100,000	79,774	▲20,226	文具、コピー他
通信費	200,000	209,846	9,846	電話、ハガキ他
振込手数料	230,000	202,174	▲27,826	年会費振込手数料
雑 費	10,000	10,772	772	残高証明発行手数料
2. 会 議 費	160,000	162,616	2,616	
諸会合費	120,000	134,376	14,376	オール・本部役員会
総務委員会費	20,000	10,570	▲9,430	
文化委員会費	10,000	17,670	7,670	
体育委員会費	10,000	0	▲10,000	
3. 事 業 費	8,920,000	7,718,405	▲1,201,595	
総会・新年会費	2,000,000	1,662,122	▲337,878	
清流発行発送費	4,800,000	4,124,485	▲675,515	
会員美術展開催費	0	0	0	
ゴルフ等開催費	20,000	20,000	0	ゴルフ・グラウンドゴルフ大会
支部活動費	800,000	800,000	0	支部会、年次会祝い他
部活動等助成金	800,000	800,000	0	部活動支援
奨励表彰費	400,000	295,412	▲104,588	新入会員記念品、表彰
慶 弔 費	100,000	16,386	▲83,614	お祝い、弔電、餞別等
そ の 他			0	
4. 予 備 費	1,945,823	0	▲1,945,823	
5. 周年事業支出	300,000	300,000	0	周年事業支出
6. 次年度繰越	0	2,589,012	2,589,012	
合 計	12,515,823	11,871,599	▲644,224	

収入 11,871,599 支出 9,282,587 次年度繰越 2,589,012

周年記念事業等特別会計決算書 (平成28年5月31日) 単位：円

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	7,304,784	郵便局定額貯金 2,808,000 ゆうちょ銀行総合 1,533,291 三井住友(スーパー定期4口) 2,729,951 一般会計預け金 233,542
一般会計からの繰入金	300,000	
利 息	1,252	
合 計 (次年度繰越金)	7,606,036	郵便局定額貯金 2,808,000 ゆうちょ銀行総合 2,067,200 三井住友(スーパー定期2口) 2,730,836

教育助成基金会計報告書 (平成28年5月31日) 単位：円

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	2,078,367	三井住友(普通)
利 息	343	(8/17分 166) (2/22分 177)
支 出	0	
合 計	2,078,710	次年度へ繰越

監 査 報 告

平成27年度決算、並びに周年記念事業等特別会計について、通帳、諸帳簿を監査した結果、すべて正確かつ適切に記入されていることを報告します。

平成28年6月10日

会計監査 泉 正 紀

会計監査 吉 田 実 盛

平成27年度事業報告書

事業名	開催回数
総会	1
新年懇親会	1
会計監査	1
正副会長会	2
本部役員会	4
オール役員会	1
総務委員会	4
文化委員会	3
体育委員会	2
入会式	1
支部総会	8
年次同総会	18

● 清流会事務局の執務案内 ●

清流会事務局は、母校内の清流館3階にあります。

古川千恵子さん(高30回)が事務局員として執務しています。

執務日は毎週月曜日と木曜日の午前中です。

TEL：079-421-0373 FAX：079-421-8464

TEL：079-424-2726 (緊急時学校)

メールアドレス

kakohigashiseiryukai@topaz.ocn.ne.jp

委員会からの報告

総務委員会 委員長 鈴木 利信 (高31回)
 平成28年清流会新年会は本年1月8日に恒例のプラザホテルにて、72名が出席して、楽しく行われました。ゲストの杉原真理子さんの歌にて楽しく食事を頂きました。



新年懇親会

さて会員の皆様にお願ひがあります。清流会の会費の収入が徐々に少なくなっています。清流会の為に会費のご協力をよろしくお願ひ致します。

文化委員会 委員長 末澤 正臣 (高30回)
 大西会長の下での「清流」第51号は、4ページ増の20ページの構成となりました。年次会の開催が例年より多かったことによるものですが、こうした同窓生の交流が増えることは嬉しいところです。

前号より導入したカラー化を活かし、写真を多用して若干の紙面構成の変更をさせていただきました。大胆な割付の変更は難しいところですが、更なる紙面充実と合わせてホームページの充実も出来ればと考えております。

そのためにも、より若い世代の会員の文化委員会への参画をよろしくお願ひいたします。

体育委員会 委員長 井岡 徳多郎 (高28回)
 平成27年度において体育委員会では、二つの事業を行いました。

①第113回清流会ゴルフ大会を平成27年9月10日に加古川ゴルフ倶楽部にて、参加者40名で盛大に開催いたしました。角田忠範様 (高9回) が優勝されました。おめでとう御座います。

②第10回清流会グランドゴルフ大会を平成28年1月8日に日岡山公園サッカー場において31名の参加を得て開催しました。吉田武則様 (高15回) が優勝されました。おめでとう御座います。本年度は暖冬の影響か？暖かい日差しの中楽しくプレー出来ました。

平成28年度も引き続き二つの事業を予定しております。

①第114回清流会ゴルフ大会

日時：平成28年9月8日 (木)

場所：加古川ゴルフ倶楽部

②第11回清流会グランドゴルフ大会

日時：平成29年1月13日 (金) 午前

※午後から新年懇親会

場所：日岡山公園サッカー場

初参加の方も含めて、皆様と楽しい時間をすごしたいと思っておりますので多くの参加をお待ちしております。



グランドゴルフ大会

清流会からのお知らせとお願い

地域支部総会・職域支部総会・年次会について

開催される時は、本部事務局へご連絡をお願いします。会長 (代理) がお祝金をお届けし、母校の近況報告をさせていただきます。

年次会の開催にあたっては、案内状発送の便宜を図り、年次会員の宛名シール等を用意いたします (但し有料です。詳しくは事務局まで。)

住所など変更の場合

住所、氏名などに変更が生じたときは事務局へご連絡ください。

お祝いについて

1. 還暦・古稀・傘寿・米寿・白寿のお祝いはすべて3,000円とします。(但し、総会出席者のみです)
2. 叙勲・褒章受章は祝電をお送りします。

会員死亡の場合

全会員を対象に弔電をお送りいたしますので、事務局へお知らせください。(香料は差し上げていません)

特別寄付金ご協力のお願い

同窓会費は在校生の部活動の支援にも使わせていただいています。在校生の活躍は同窓生にとっても大きな喜びですが、それなりの費用がかかるのもまた現実問題としてあります。

年次同窓会での余剰金や慶事記念行事の際などにご寄付いただければ幸いです。

会員の皆様に年会費納入のお願いをした上に、誠に心苦しいのですが母校支援のための特別寄付金 (金額はいくらでも結構です) のご協力をお願い申し上げます。

同封の振込用紙をご利用ください。

但陽信用金庫本店営業部 普通5461365
 兵庫県立加古川東高等学校清流会特別寄付
 会長 大西 壯司

清流会ホームページのご案内



清流会では、ホームページも開設しております。

<http://seiryu-kai.jp/>

年次会の案内や報告にご利用ください。会員のトピックスなども歓迎いたします。

東京支部や稲美支部のホームページにもリンクしています。ぜひ、ご覧ください。

詳しくは、清流会の事務局まで。

地域・職域支部だより

●東京支部 同窓生の集い2015

支部長 松井昭憲 (高30回)

平成27年は11月13日に総勢276名もの皆さんにご出席を頂き、それは大変賑やかに開催させて頂きました。全員の集合写真をご覧ください。皆さんの笑顔が溢れています。実は前年が母校創立90周年、支部創設50周年とWメモリアルでの集いでしたから、ちよつと減るかなと心配しながら当初は準備を始めました。ところが申込みベースでなんと300名に届く人数となりびびっくり仰天。準備担当役員さんは、えらいこっちゃと大慌てでした。

今回のOBゲストスピーカーはTBSテレビでお馴染みの杉尾秀哉氏(高28回)にお願いしました。現在の政治情勢や芸能界の裏話など、わかりやすくユーモアたっぷりにお話し頂き会場は笑声に包まれました。

「ふるさと・加古川クイズ」の司会はNHK・高瀬耕造アナ(高46回)にお願いし、同窓生有志から頂戴した沢山の賞品を、皆さん喜んでお持ち帰りでした。当日、遠くは広島や宮城からも参加頂き、菅

原洋一氏(高4回)もご出席でした。新卒の高67回生も出席してくれ、壇上で高瀬アナから歓迎インタビューを受け元気いっぱいでした。「2015」企画のクリーンヒットは、最後の全員集合写真。メディアチームの快心作ですが、サプライズ演出で私も事前には聞かされていませんでした(笑)。加古川からも多木有一副会長(高21回)、山口勝英前会長(高15回)、安本校長など多くの方にお越し頂き華を添えて頂きました。東京支部の根っ子は加古川です。本部の応援を頂ければ支部運営は成り立ちません。今後とも加古川から一番遠い支部へのご支援、ご指導をお願い申し上げます。

今年11月11日(金)です。ぜひご予定ください。(ピムコ・ジャパン・リミットド会長)



●大阪支部

支部長 山本俊輔 (高25回)

平成27年度の大阪清流会総会は、総勢60名の盛会でした。最初に歴史ある加古川焼のただ一人の継承者として、ご活躍されている陶芸家の川西幹雄氏(高20回)より「加古川焼」についてご講演頂きました。

唱された最高齢の伊藤良昭さん(中19回)、そして高松校歌は、ソプラノ歌手の杉原真理子氏(高21回)など、皆様に会を盛り上げていただきました。

や作品を手に取りながらの作品紹介、創作に対する熱い想いなどを話して頂き、参加された皆さんも、ふるさと加古川の魅力を再発見することができたのではないのでしょうか。

次に土屋本部副会長より90周年式典等についてお話し頂き、続いて安本校長から、野球部秋季大会ベスト4の速報をはじめ、母校後輩の活躍ぶりが近況報告されました。懇親会では、ラッキー抽選会司会の糟谷千恵子さん、高らかに中学校歌を斉



●奈良支部 第33回わかきさ会の報告

わかきさ会会長 板倉白雨(高18回)

33年目となります総会のご報告をしたいと思います。場所は、和食がユネスコ世界無形文化遺産に登録されたのを機にネットで「和食・文化遺産」で検索しヒットした、奈良の駅近の良きお宿で、Am11時受付、半から総会を開始しました。東高から安本直校長先生・谷正人先生、本部からは大西社長・藤本陽一副会長のご出席を頂き、和気藹々と2時間あまり賑やかな会になりました。

今年、榎原市昆虫館館長補佐・芸芸員、高校33回の中谷康弘さんに昆虫のお話をお願いいたしました。ご専門がスズメバチの生態研究で、パネルを多用して面白いお話をしてもらいました。かなり危険な昆虫として知られるスズメバチの回避方法や、何度もさされ体験なども



出席者の関心をぐいと捕まえあつという間の予定時間が過ぎていました。後日、耳にしたところで、会の翌日、早速フィールドに出て調査しているところ目撃した会員がいるようです。会の賑わいに反して出席者は少なく、15名の参加でした。毎年諸事情で参加者が減少しているの、何か手を打ちたいとスタッフで頭を抱えているところでは

●姫路支部 盛況だった姫路支部総会

支部長 平田建喜(高19回)

平成28年2月19日姫路キャッスルグランヴェイリオホテルにて姫路支部総会を開催。本博大西会長・安本校長らご臨席の下、総勢46名(昨年より10名増)が出席。この日のために昨年6月支部事務局を設置し、メンバーに中堅・若手会員から3名を起用、総会実施までに支部長以下5名が6回会合をもち、総会の案内方法や懇親会の内容等につき検討を重ねて本番へ。開催案内に一部メ



ルを活用して経費節約に努め、前記3名には懇親会の進行を全面的に任せる等の試みが奏功し、全会員入り乱れてあちこちに親睦の輪が広がり、そのうち入会間もない会員らが積極的に壇上に上がつ

て自己紹介等をはじめなど盛況のうちに進行、最後は校歌斉唱、記念撮影をして終了しました。



●明石支部 出会いと絆を大切に

支部長 森本真一(高21回)

毎年清流会明石支部では、2月中旬に総会並びに特別講演を行っています。今年度の特別講演は、高校49回生の田村智之氏に「高齢者福祉の現状とこれから」と題し、現在大きな社会問題となっている介護の最前線の話をして頂きました。

毎年、短い時間ですが明石支部の中から、各方面で活躍されている方々を講演者としてお願いしています。この特別講演は、今では大先輩から若い世代まで好評を博し、人の生き方などを学ぶ機会の一つにもなっています。

その後の懇親会は、先輩・後輩という年代を超えた縦糸と同年代という横糸を結ぶ「絆」として、そして、大いに語り合う「出会い」の場にもなっています。

今後は、出身中学校毎のテーブル配置や若い会員の確保などを通じて、更なる明石支部活性化に向けて取り組んでいきたいと思っています。



●稲美支部
平成27年度清流会稲美支部総会

支部長 福田恒夫（高10回）



という演題で講演を聞きまし
た。

また第三部の親睦会では伝
統文化の地酒『倭小槌』で乾
杯をして大いに親睦を深めま
した。

平成27年7月5日 稲美町
コミュニティセンターにて開
催いたしました。参加者は来
賓も含め81名でした。

第一部の総会では、福田恒
夫（高10）支部長の挨拶に続
き、来賓の山口勝英（高15）
会長と安本直学校長の祝辞を
いただきました。

第二部は19回生の稲美町国
際交流協会会長の中谷範之氏
の「つれづれなるままに：」



（稲美支部及び本部のホームページより）

文化委員会が編集しました）

●県庁支部
平成27年度清流会県庁支部総会の開催について

支部長 藤田隆司（高25回）

10月29日、ホテル北野プラ
ザ六甲荘において平成27年度
の清流会県庁支部総会が開催
された。県庁支部の会員は
二百数十名で、県内の高校で
は姫路西高校に次ぐ2番目の
数である。今回の63名が参加
して会長をはじめ新役員が選
任され、会長は財団法人生き
がい創造協会の藤田理事長か

ら、藤原兵庫県理事に引き継
がれた。来賓には、県議会議
員から釜谷議員、岡議員をはじめ、
加古川東高の安本校長や、清
流会の藤本副会長、大西副会
長、加古川市の市村副市長ら
に参加いただき、全員で校歌
を合唱し同窓の絆を深めた。



清流会県庁支部総会

2015.10.29 ホテル北野プラザ六甲荘

●神戸教職員支部

支部長 松井勝美（高24回）

平成27年度
の清流会神戸
教職員支部総
会・懇親会が
9月4日6時
30分より、神
戸駅前の天安
閣にて開催さ
れました。



清流会副会
長の大西淳滋
郎様、大庫隆
夫様、母校教
頭の安岡久志
様のご出席を
いただき、後
輩達の活躍ぶ
り等の報告を
受けました。

恒例の会員近
況報告が先輩
より順に始ま
ると、終始笑
いに包まれ、
和やかなうち
に会が進んで
いきました。

年次を問わず、会員の教育
への熱い思いを実感させられ
ました。年々出席者が減り、
寂しい面もありますが、年に
一度、旧交を温め合うよい機
会となっています。



参加者

- 松尾卓郎（中19・20回）
- 山本治郎（中22・高2回）
- 原戸浩三（高12回）
- 岡本武利（高13回）
- 奥田貞子（高16回）
- 松井勝美（高24回）
- 池田浩二（高39回）
- 尾崎浩二（高39回）
- 藤岡菜穂（高61回）

清流会県立学校管理職等の会

平成27年度幹事 藤原健剛(高26回)

平成27年7月25日(土) 17時30分から加古川プラザホテル4階「東京田村」において、恒例の県立学校管理職等による清流会懇親会が開かれました。来賓として釜谷研造県議会議員(高2回)、岡毅県議会議員(高50回)、安本直加古川東高等学校校長、柿本武男ハリマ産業新聞社主筆に華を添えていただき、岸本進氏(高3回)を筆頭に退職校長9名、現職では高井芳朗兵庫県教育長(高24回)をはじめ校長5名(在籍6名)、教頭9名(在籍10名)、県教育委員会事務局1名が集いました。来賓の心温まるご挨拶に始まり、安本校長先生から加古川東高校在校生の文武両道のめざましい活躍についてご報告をいただいた後、乾杯へと移りました。母校の活躍に心を強くしながら教育

平成27年度幹事 藤原健剛(高26回) 談議に華を咲かせ、また、会員の近況報告などであつという間に和やかで賑やかな時間が過ぎました。最後は兵庫県の高等学校教育を支えんとの意気込みを持って校歌・応援歌を斉唱し閉会としました。



年次会だより

中18回

平成27年度 米寿記念同窓会

年次幹事 神吉 稔

平成4年度同窓会開催より毎年開いて来た同窓会もいよいよ本年開催の米寿記念同窓会をもって最後とすることに、参加者も18名、何十年振りに神戸より石橋昭三君も出席してくれました。席上幹事より「同窓会は今年で終るが、毎年清流会総会には4名位が出席しているの、総会には是非参加願いたい」との要望もあり、会計報告が完了次第残金を青松会へ寄付したい旨の提案もあり、提案通り参万五千貳百参拾六円を青松会へ11月に寄付致しました。



加古川プラザホテルボールルームにて10月30日開催

戸)井上邦典(高砂)大國敏樹(明石)長山晋道(加古川)神吉 尚(高砂)神吉 稔(加古川)木下正一(加古川)窪田孝弘(加古川)栗林茂三(加古川)河野昭道(姫路)小林和博(加古川)近藤 翼(明石)高倉幸七(加古川)沼田典詮(稲美町)花栄雄幸(加古川)畠 百一(西宮)森田敏男(加古川)。

当日、プラザホテル喫茶室にて二次会も行い名残りは尽き難いが、各自の健康で余生を送るべく祈念して散会となった。なお同窓会後の11月20日に安井文雄、同月21日に沼田典生、元気で同窓会に出席した栗林茂三が12月10日、年明けの1月に山脇義武の諸君が他界し残念至極である。同窓会出席者 石田哲哉(神戸)石橋昭三(神戸)

中19・20回

根気強く、連続57回同窓会

伊藤 良昭



天気快晴、菊花かおる平成27年11月5日(木)にJ.R明石駅近くのグリーンヒルホテル明石で第57回同窓会が開かれました。平日で、しかも例年会場が加古川であつて今回は明石になったが出席者は25名であつた。司会の山田憲男氏の開会の言葉に続き、127名の物故者に黙祷を捧げた。世話人代表挨拶として、この旧中19・20回同窓会がスタートしたのは昭和35年であり今回はすばらしく57回であること、同級生であつた荒尾素次氏が途中清流会の会長として活躍されたこと、最近可成り高齢者の方もノーベル賞を受賞されているが「失敗を怖がらずに根気強く研究を続けたから」と言っておられ感動したこと、高齢者の人が頑張れば若い人に力を与えること、また逆に若い人が頑張っているのを見て高齢者の方も頑張らなければと思うことなどを述べさせて頂きました。続いて宮下俊生氏の発声で乾杯し懇親会に入った。中学



中21・高1回 平成27年度同総会

戦後の学制改革で、中学卒業後、希望者が高校3年に入学した。中21・高1の同窓会が始まって35回位になるだろう。

今年、明石組が担当。11月14日、明石H・キャスルプールに15名が集った。

戦中、戦後を

体験した数少ない存在。勉強はともかく、

戦争末期と戦後の苦しい生活に耐え、戦後の日本復興に尽力し、成功させた世代。

同窓生の57%が帰らぬ懐かしい人々に。

今日会えた幸せを喜び、話の尽きぬ宴になった。親から頂いた遺伝子。よき連れ合、よき友、

医学の進歩や健康保険制度に感謝し、政治に期待する。そして国際共産主義や米国の操られて戦

争に追い込まれた悲劇を繰り返さぬ様に、又隣国の「だますより、だまされる方が悪い」を忘れず、諜報活動には特に留意し、より多くの国々との友好を願う。

「所詮人生阿弥陀籤」とか。くじ運がよく元気でいるだけである。最早、会の存続は怪しくなったが、「なお5年やろう」と言う。米寿まで頑張れるかどうか疑問である。「善し悪しき人の上にて身を磨け、友は鑑となるものぞかし」(朝ドラ・あさが来た)の通り、戦中、戦後の混乱期(中3〜高3)を共にした交友、交遊の絆は深い。

(記 金川俊成)



高3回 (燦三会)

年次幹事 畑谷 芋一

「所詮人生阿弥陀籤」とか。くじ運がよく元気でいるだけである。最早、会の存続は怪しくなったが、「なお5年やろう」と言う。米寿まで頑張れるかどうか疑問である。「善し悪しき人の上にて身を磨け、友は鑑となるものぞかし」(朝ドラ・あさが来た)の通り、戦中、戦後の混乱期(中3〜高3)を共にした交友、交遊の絆は深い。



会場に「2時間も早く着いた」という者や「今年が最後かと思う」と病軀を押しての参加もあった。元気な顔に、飽くなく出たいという思いが、その原動力となっている。挨拶を交わす中に、また、会食中の近況報告に、互いの健勝を願った。

後の歌謡曲を唱和しながら、思い出のブルースに時を過ごした。まさに想起するは、回る走馬灯である。

(平成27年11月6日)



セピア色

高4回

近況報告

年次幹事 藤田 勇

高4回は昨年9月例年通りプラザホテルで開催した。今回は菅原洋一君が参加してくれたが残念ながら参加人数は年々減っている。

清流会の名簿では卒業生430名その内生存者275名死者122名不明者33名と成っています。今回の案内は275名に内出席者は男性22名、女性25名でした。

返信には、体調不良、療養中の方が多く、天国に召された方7名の報告がありました。

谷垣守良、松井滋幸、増田孔兵、福岡(池田)條子、藤本(藤尾)宮子、橋本豊、田城昭、の方々。

以上の報告の後、黙祷、歓談記念写真を撮って閉会とした。

出席者は至って元気、会えば青春共通の思い出を持つ仲間、記憶がよみがえり、いつもの通りで時間の経つのも忘れて語り

合い。高4回も七夕様のように年に一回逢瀬を楽しむ、ロマンチックな会を何時まで続けられるかな。

次の目標は「米寿の祝い」残った人で頑張ろう。願いは健康第一。



高6回

つつがなく一年が過ぎし…

前田 功

今年の6回生のつどいは4月21日。同窓会の日を固定してはどうかという意見もあり、昨年同様、4月21日に開催した。ところがこれがまたこの日だけ雨。

「だれが雨男や。いや雨女はだれや」と言いながら、楽しい雰囲気盛り上がった。今年の参加者は41名。3年連続で、これまでより多少減ったが、だいたい参加者がかたまった感じでもある。

これまで数え年で「傘寿のつどい」「半寿のつどい」などをやってきたが、今年は満80歳。まさに真正正銘の傘寿である。若いころは80歳まで元気で生きられるなんて考えられなかっただけに感慨深い。これから八十路をどのようにたどっていくか、これが一人ひと



高11回

同窓会

後期高齢者に…

年次幹事 土師 さか系

平成27年10月21日(水)、加古川プラザホテルで、第11回卒業生の同窓会を開催しました。

幹事会では「後期高齢者になっていくので、出席者は少ないのではないかと」と話していましたが、当日は、男性46人、女性45人の計91人の参加となり、盛況の年次同総会になりました。

乾杯の音頭では、加門さんが「80歳までゴルフを頑張りたい!」と、元気なところを…。

近況報告では、「50年間住んでいた姫路から加古川に帰ってきましたが、すっかり変わっており、浦島太郎のような状態で、毎日、探検して回っています。」という方や、「リタイヤして15年間、のんびり暮らしています。年に1回は、家内と海外旅行をしています。」といった楽しい報告もありました。

ビンゴゲームの後には、全員で写真撮影、今日はいちばん



高14回

第8回同窓会

松崎 正俊

平成27年9月27日(日)午後1時より8回目の同窓会を開催しました。

高校卒業20年目に第1回を、その後5年ごとに開催してきましたが、前回数の方から5年後では70歳越え、出てこれなくなる人も出てくるのではないかとの声があり、次回は3年後にしようとなりました。

この3年間に残念ながらいつも顔をみせてくれていた6名の方がお亡くなりになっていました。今回参加者は70名でした。

開会後ご冥福を祈り、黙祷をささげました。

世話人代表の井澤先生のお話、開会あいさつ、井澤先生の乾杯で懇親会が始まりました。

特別な企画もなく、わいわいとにぎやかに楽しい時間が持てました。

次回も3年後ということになりました。

2次会は地下

若い日。みんな、それなりに若く写っています。

二次会では、飲みものとケークで、また、話はずみでした。

次回は、平成29年春の開催を予定しています。また、多くの方にお会いできるのを楽しみにしています。



高16回

「古希を祝う同窓会」開催をふりかえって

幹事代表 清田 康之



した。木ノ村君自身が作詞した歌で古希の同窓会にふさわしい歌でした。その歌の中で、「人生、いまだ 上り坂」という詞があり、その内容で同窓生たちが大いに沸き、5年後といわず、毎年、同窓会を開催しようということになりました。

「同窓会 毎年開催」ということについては、3回生の先輩のご助言もあつてのものです。この紙面をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

平成27年12月14日、加古川東高校16回生「古希を祝う同窓会」を加古川プラザホテルにて、恩師の井澤一勝先生の御臨席をはじめ、76名の同窓生の出席のもと、盛大に開催することができました。

井澤先生は、92歳というご年齢とは思えない程お元気で、すばらしいお祝いのお言葉を頂き、同窓会に華を添えていただきました。

5年ぶりに同窓生が出会い、会が盛り上がったところで、同期の木ノ村一君が「人生70年」という歌を披露してくれま



高18回

「卒業50周年」記念し「古希」を前に同窓会

幹事代表 長尾 義純

私たちが卒業したのは昭和41年3月。団塊世代ピークの548人という大所帯でした。近年の全体同窓会は50歳の時と、60歳の選歴以降は3年ごとに開催。今年5月22日の加古川プラザホテル会場には、恩師4人のほか、名古屋以東組11人を加えた66人の元気な顔がそろいました。

ど難問が続き、好成績者に、「貯筋」「孫の手」「着火」といった老人必携ハイカラグッズ？が多数贈られました。（正解は、20万円、ダッコちゃん、平凡パンチ）最後に校歌を斉唱。3年後の再会を約束して閉会しました。

遅刻者には申し訳なかつたのですが、定刻キツカリに18年ぶりの集合写真を撮影。全員の協力でなんとか記念のお土産になりました。

亡き友43人への黙祷などに続き、まずはトランプで決めた円卓ごとに歓談。そろそろ仕事も卒業、地域活動や趣味の話で盛り上がりました。（次回は是非、欠席者の近況報告集なども揃え、発信したいものです）

余興のクイズ大会では「昭和22年の第8回宝くじ1等賞金は？」、「中学入学の昭和35年に流行したオモチャは？」、「高校2年の昭和39年に創刊された雑誌は？」な



高19回

4月29日は高19回生が集う日

仲上 常幸

高19回生は卒業後30年、節目の年の4月29日に初めて同窓会を開催しました。以来、4月29日を「高19回生が集う日」と定め、毎年4月29日に皆さんが集うようになりまして。そして、5年に1回は加古川プラザホテルで大々的に開催することになっています。時の流れは早いもので、今年卒業後50年の節目の年になり、4月29日に卒業50年記



念同窓会を開催しました。参加者は総勢110人、内訳は恩師井澤一勝様1人、男性80人、女性29人でした。その内県外からの遠来者が16人で、50年目に初めて参加された人が7人でした。参加者全員が旧交を温め、大変盛り上がり楽しい一時でした。最後は、私が発案した「21本締め」で締めました。

高32回

席替え同窓会で懐かしさ倍増

吉田 実盛

去る5月4日（みどりの日・水）、加古川プラザホテルで4年ぶりの学年同窓会を開催しました。恩師9名と参加者138名が旧交を温めました。現役応援団員のエールで開幕し、1次会では当初3年次のクラスで着席していた参加者が30分おきに2年次のクラス、1年次のクラスと席替えをして各学年を懐かしみました。また、続いている2次会では残った133名が1人ひとりマイクを持ち、近況を報告しあいました。その後、3次会、4次会と続いて、正午から夜中までにぎわいました。



高33回

卒業後初めて同窓会を開催II高校第33回卒業生

藤本 勝也

私たち33回卒業生は（昨年の）7月11日、昭和56年3月の卒業後初めて同窓会を開きました。恩師の先生方もお招きし179人が参加。34年前にタイムスリップした楽しい時間を過ごしました。

出席いただいた先生は、瀬戸川孝先生、立花誠一郎先生、徳田悦子先生、吉田和志先生、常深進次郎先生の5名。徳田先生からは「ものすごく歓迎してくれ、素晴らしい33回生です」とのうれしいお言葉も。

同窓会は3年次のクラスに分かれたテーブルに着席して開始。その後、2年、1年と年次ごとにテーブルを移動し、なつかしい思い出を語り合いました。最後に、渡辺勝彦君の指揮で校歌を斉唱。あっと今に時間が過ぎ去りました。

同窓会の様子はフェイスブックやYouTubeでも公開していますので皆さんご覧ください。



高33回の年次会から本会に寄付をいただきました。

¥40,000-

特記して感謝申し上げます。

高35回

「遠方さん、いらっしやい！」

釜谷 泰造

35回生の第2回学年同窓会が、去る5月3日（火）13時30分より、AMAVEL（神戸）で開催された。今回は「遠方さん、いらっしやい！」と銘打ち、近隣在住の友はもとより、距離的・時間的に、故郷や高校時代が遠くなっている友にも是非参加して欲しいとの思いを打ち出したところ、恩師含む総勢約100名が集った。懐かしい高校在学中の体育祭のDVDが上映される中、学年幹事の釜谷泰造、小山（旧姓上田）三佳両氏からの挨拶、元生徒会長の小島光博氏の乾杯を皮切りに、加古川観光大使／講師の旭堂南海こと内海浩明氏の司会進行により会はほとんど熱気を帯び、途中、バリトン歌手藤村匡人氏のり



ードのもと校歌を皆で合唱した。4名の恩師を囲みながら、あちこちのテーブルで尽きることのない昔話に花が咲き、笑いの渦が巻き起こっていた。会の最後に、清水厚雄氏指導のもと記念撮影をし、参加者皆にとってエキサイティングな3時間が過ぎて幕を閉じた。その後、2次会、3次会と場所を移しながら、多くの友が再会を固く誓い合っていた。

東京オリンピックの年生まれの35回生、次回開催はまた4年後、そう、次の東京オリンピック開催の年だそうである。



高36回

32年ぶりの学年同窓会

加古 武史

平成27年8月15日12時から加古川プラザホテルにおいて高36回生の初めての同窓会を開催しました。117名が参加し、紺野靖幸先生、徳田悦子先生、立花誠一郎先生、武田信行先生、磯野卓巳先生、常深進次郎先生にお越しを頂いて、盛大に開催することができました。

開催前から会場のあちこちで上がる歓声が32年という時間の壁を一気に越えて高校生にタイムスリップさせます。司会には地元CATVでお馴染みのスパイシー八木さんを迎え、劇的ビフォーアフターにも出演した建築家大島健二氏の講演、関西二期会の八百川敏幸氏と高砂音楽家協会が活躍する広谷陽子さんによる歌唱など盛り沢山。恩師の方々にはお一人ずつ懐かしいお話をいただいで、あつという

間の3時間を楽しく過ごすことができました。すぐにも次回開催を期待する声がたくさん聞かれ、再会を誓い合いました。



高37回

卒業30周年記念同窓会

黒田 昌宏

8月15日、加古川プラザホテルにおいて卒業30周年記念の同窓会を開催しました。

従来、5年に1度行っている同窓会ですが、今回は卒業から30年、節目として特別な思いでの開催となりました。

趣向を凝らし、当時の清流新聞や新入生オリエンテーション資料、修学旅行の案内に歌のしおり、卒業アルバム他懐かしい物を展示して見てもらえるようにしました。

小寺沢先生、三木先生、中本先生、永田先生、紺野先生と五人の先生にもご参加頂きました。先生そして同級生との再会を喜び、昔話にも熱が入って大いに盛り上がりまして、

2次会も遅くまで飲み明かし、次回5年後の再会を誓いました。

次回も是非多くの同級生に



参加して欲しいと思っておりますので、宜しく願います！



高41回

初めての同窓会

鹿間 聖

平成28年1月2日(土)14時から加古川プラザホテルにおいて高校41回生の同窓会を開催しました。135名の同級生が集結、長谷川先生、北川先生、塩谷先生、藤井先生、井上先生、稲岡先生にご参加いただき、総勢141名の会となりました。

本格的な学年同窓会は平成元年に卒業してから初めてのことでしたが、始まってしまえば気分はすっかり高校時代に戻ります。スライド写真、恩師からのお言葉、応援団の演舞など、懐かしく楽しい時間はあつという間に過ぎ、校歌斉唱と写真撮影でお開きとなりました。2次会、3次会にもそれぞれ88名、52名の参加があり、興奮に包まれた1日が終わりました。

今後は4年に1回、オリンピックキヤーに同窓会を開催していくこととなりました。今回ご参加いただけなかった方も次回のご参加を心よりお待ちしております。

参加して欲しいと思っておりますので、宜しく願います！



大学院生 菅藤 理也

私たちが64回生も母校を卒業して早くも4年が経ち、この春多くの者が就職・進学で新たな出発を迎えました。この新たな旅立ちを前にもう一度集まる運びとなり、去る2015年12月30日に加古川プラザホテルにて同窓会を行いました。成人を迎えた二年前にも同窓会をしたばかりにもかかわらず、190名も出席し先生方にも7名出席していただき、出席者の多さに変わらない64回生の親交の深さを実感しました。

河岡先生による乾杯の音頭の後には近況報告や新たな環境について話が弾み、有志によるダンスや漫才、フライパン曲げ（！）も披露され、会場は大いに盛り上がりました。3時間という長い時間もおつという間に過ぎ、最後出席者全員で記念写真を撮り、みなで名残を惜しみつつも散会となりました。それぞれの形で迎える新たな旅立ちを前に旧交を温め、心の支えを得ることができた同窓会でした。

今後予定されている年次会・地域支部の総会など

稲美支部	2016年7月3日 稲美町立コミュニティセンター	福田 恒夫
奈良支部	2016年9月4日	板倉 白雨
大阪支部	2016年9月10日 大阪神仙閣	山本 俊輔
東京支部	2016年11月11日 アルカディア市ヶ谷	松井 昭憲
明石支部	2017年2月16日	森本 真一
姫路支部	2017年2月17日	平田 建喜
県庁支部	9月末～10月初旬	藤田 隆司
神戸教職員支部	未定	松井 勝美
中19・20回	2016年11月8日 加古川プラザホテル	釜江 侃
高13回	2016年9月24日 加古川プラザホテル	堀井扶佐子
高31回	2016年8月13日 加古川プラザホテル	鈴木 利信
高15回	2016年11月6日 加古川プラザホテル	坂川 学



年会費納入のお願い

清流会の事業は会員の皆様からの年会費でまかなわれています。近年は会費納入者が通減化の傾向にあります。在校生の支援や同窓生の交流事業を進めるために年会費3,000円の納入をお願いいたします。納入期限は平成29年5月31日になっておりますが、早期の納入にご協力を重ねてお願いいたします。

納入に際しては同封の振込用紙（コンビニ、郵便局、但陽信用金庫）をご利用ください。手続きが初回のみで済み、毎年窓口で振り込む手間が不要になる但陽信用金庫の「定額自動送金サービス」を利用して納入することもできますのでご利用ください。

ふるさとひょうご寄附金

“県立学校環境充実プロジェクト”で

東高を応援!

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

寄附金を活用する事業（寄附金の具体的な使用方法）

- ①アクティブ・ラーニング等
新たな学びを支援するICT機器の整備
- ②国際交流の充実
- ③充実した部活動を支援するための環境整備

会員だより

地域に生きて

前田 功(高6回)

平成9年3月、教職を辞してから教育関係の仕事は言うまでもなく、地域の仕事も多くやってきた。町内会関係の仕事、保護司、防犯など、ほとんどが地域ボランティアの活動と言っている。現在は、地域の土地改良区の仕事をしている。土地改良区の仕事といっても、仕事の内容は理解しにくいと思うが、端的に言う

と、農地を耕作しやすいように整備する仕事である。私の地域は昭和48年から約5年かけて、県営の圃場整備事業をやっていた。しかし、それから30年以上過ぎると、用水路、排水路など主な施設の老朽化が進み、使用上問題も出ていた。それをどのように解消するかは、農業振興を図るうえで懸案事項であった。その状況を関係機関にはたらきかけていたところ、幸い事業の許可がおりた。

しかし、その事業を進めるに当たっては、いろんな問題もあるので、その中心的な役を引き受けてほしいというところであった。平成19年のことである。

私は正直なところ、こんな役がまわってくるとは考えもしていなかった。おかげさな言い方をすると、人生の不思議を感じた。と言うのも、私は若いころ、父や弟たちと一緒に百姓をしてきた。しかし、高校、大

学と進学し、教職につくと農地を耕す仕事は私からはかなり遠のいていった。それだけに老齢になって、農地にかかわる仕事を引き受けざるを得なくなるとは思いもよらなかった。農村で生活するものの宿命であるとも言える。

それから8年、総工費15億の事業を推進していくことは大変なことであったが、反面、私はこの仕事をやらせていただいて有難いことだと思っている。自分でこなさなければならぬ目標や課題があるからこそ、仕事に対する意欲も高まり、それが元気の源になっていると言える。

もう80歳を超えたが、地域の中で生きることによさを味わいながら日々を送っている。昨今である。



市長を辞して

樽本 庄一(高11回)



市長を辞して2年が過ぎましたが、各種のイベントに参加している時、又、街を歩いている時、「お元気ですか。」と声を掛けて頂きます。あらためて多くの方々にお世話になったのだと思うと感謝の気持ちで一杯です。

さて、今だから言えるのだと思いますが、私が市長選に臨む時の公約でもあり、現在も多くの自治体の首長が共通して掲げる公約があります。一つは、行政のムダをなくし財源の確保を図る「行財政改革」二つ目は、市民の皆さんと同じ目線で考え、物事を進めていく「市民目線」三つ目に、従来の悪しき権益の見直しやしがらみをなくすという「行政の公平・公正の確保」があります。

しかしこれらの事は、現実に行政を運営していく上では市民の皆さんの思いとは少し違いがあります。一つ目の「行財政改革」は、端的に言って各種事業及びサービスの廃止・縮小、施設の整理・統合、職員削減が主な内容です。しかし、「行財政改革」を推進するのは職員であり、職員にとっては事業も活動の場も、又、自分自身の身も削られることから抵抗も生まれます。このことから、職員自らが考えるように職員自身の意識改革を絶えず促すことが重要です。いずれにしても「行財政改革」は自治体の永遠のテ

ーマです。二つ目の「市民目線」は、市民の皆さんには耳触りの良い言葉です。日常生活での利便性、快適性を考える庶民感覚・主婦感覚も大切ですが、まちの将来を見据えた安全安心、潤いのある環境、賑わいのあるまちづくりも大切です。その意味から必ずしも市民に迎合しない進め方も必要なのです。三つ目の「行政の公平・公正」の定義は難しく一人一人の考え方の違いもあり、その上に行政が一部の人や団体に既得権益を与えているとか、しがらみがあるとかの誤解や偏見があります。

見があります。むしろそのことによ

って、従来の習慣や裁量の範囲で上手く展開していた事業・サービスまで、阻害されるというか、結果的に適切な判断、迅速な判断が欠ける要因にもなると考えます。市民の要望は多岐にわたっており、良いと思ったことは早く決断し実行することが本当の市民サービスの向上に繋がるのではないかと思います。

これからも任んで良かったまち加古川、これからも住み続けたいまち加古川であってほしいと願っています。

「マッサン」の想いを馳せて

岸本 健利(高30回)

清流会の皆様はじめまして。高校30回卒業の岸本健利と申します。東校を卒業後、大阪の大学を経て、会社に入りましたが、34年間の会社勤務で一度も関西勤務経験がなく、同窓会にも出席すら出来ていない私に、何故か寄稿の依頼が参り、筆を執った次第です。



私は、朝の連続テレビ小説「マッサン」のモデルとなった竹鶴政孝が興したニッカウヰスキー(株)に勤務しております。今年の3月に、図らずも代表取締役社長を拝命し、緊張と重責に耐える毎日を送っております。「マッサン」の放映があつて、今ウヰスキーがブームです。創業者の「マッサン」こと竹鶴政孝は、模造ウヰスキーが出回る大正時代に、「一人でも多くの人に本物のウヰスキーを飲んでもらいたい」という一心で、単身ウヰスキーの本場スコットランドに渡り、ウヰスキーの製造方法を学び、帰国後、日本で最初に本格ウヰスキーの工場を立ち上げました。スコットランドで出会ったリタ夫人を連れて帰国するわけですが、ドラマではリタ夫人はエリーという役柄でありました。大正時代の飛行機もない時代に留学し、そして異国で結婚、そして帰国後ニッカを起業する、私は、このパイオニア精神、浪漫に憧れて、ニッカウヰスキーの扉をた

開かれています。むしろそのことによつて、従来の習慣や裁量の範囲で上手く展開していた事業・サービスまで、阻害されるというか、結果的に適切な判断、迅速な判断が欠ける要因にもなると考えます。市民の要望は多岐にわたっており、良いと思ったことは早く決断し実行することが本当の市民サービスの向上に繋がるのではないかと思います。これからも任んで良かったまち加古川、これからも住み続けたいまち加古川であってほしいと願っています。

たいした訳です。入社後間もなく、パブルがはじけ、ウイスキーが売れなくなり、ウイスキー冬の時代が訪れました。25年にも及ぶ冬の時代を経験し、その間、会社組織も大きな変貌を遂げることとなり、今ではアサヒビールの100%子会社で製造機能に特化した会社となりました。ただ、冬の時代の間でも創業者が目指した「本物のウイスキー」を作り続けることで、国内外で榮譽ある賞を沢山頂くことができました。そして、今のウイスキーブーム。「マッサン」が私達に残してくれたものは、いい物を作り続ければきつといい日が来るということだと思います。清流会の皆さん是非二ツカウキスキーを飲んでみて下さい。「マッサン」の夢に想いを馳せながら。

東進衛星予備校講師として

渡辺 勝彦（高33回）

東進衛星予備校をご存知でしょうか？全国約1000校舎10万人の生徒が学んでいます。在籍講師はわずか数十名です。「今でしょ」で有名になった林修先生とは、教育について語り合う仲間です。

私は、横浜の高校で教諭として勤務したのち、元は河合塾の講師でした。私の担当講座は高1から高3まですべて満席。高3の授業では定員250人が数分でSOLD OUT。まるで人気コンサートのチケット状態でした。受講できない生徒は数知れませんが、教師として本当に恥ずかしいことなのですが、当時の私は前人未踏の数々の記録を鼻にかけていまし

た。そんな時、東進から声がかかったのです。予備校のトップ講師を引き抜くとすれば、とんでもない額のお金が動くはず。しかし、東進は違っていました。「授業を受講できず泣いている生徒が多数いることそれが間違いです。東進は映像授業です。からどんな山間部や離島であっても教育の機会は均等なのです」その厳しい指摘に、東進への移籍を決意しました。現在私は、東京吉祥寺のスタジオで授業を収録する一方、北は北海道から、南は沖縄宮古島まで年間180市町村で公開生授業を行っています。福岡では、1日の講演で430人が参加してくれました。そんな中、「なぜ先生の授業では、難関大学に極めて高い比率で合格できるのか」とよく尋ねられます。実はその方法

は、加古川東高校の当時の恩師の言葉をもとに完成させました。「授業中眠くなるのも、目標を最後まで達成できないのも教師のせいだ。私が君を変えてやる。心が変われば生徒は自ら本気で学ぶのだ」そして私は先生を勝手に「あつ」という間に終わってしまうのいつまでも終わってほしくない楽しい授業」を編出ししました。

現在の東校の先生方も素晴らしい授業をされていると確信しています。難関大学合格のため、わずかながらもお手伝いができれば、ささやかではあります。当時の恩返しとなるのではと考えています。公開授業、東進のCM等でお目にかかれることを楽しみにしています。



活動29年。今まで、これから...

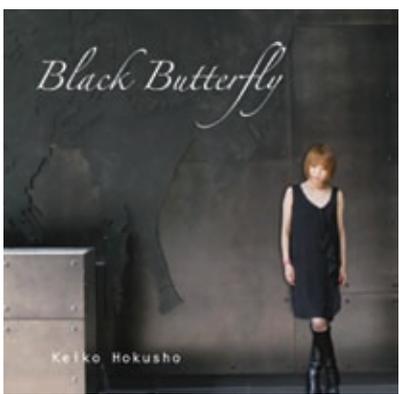
北荘 桂子（高37回）



懐かしいうに感じております。神戸女学院大学文学部英文学科に進学しましたのは小さな頃から姉が聞かせてくれたアメリカンロックに心酔し、それと同時に英語と云う言語特有の美しい音の世界に魅了されたことでした。学業と並行してジャズボーカルレッスンに通い始めたのがきっかけで、不思議なご縁と素晴らしい先輩方に恵まれ、プロシンガーへの道へと進むこととなりました。未熟でありながらも、多くのお仕事を体験させて頂きました。ジャズシンガーとして無我夢中で慌ただしく過ごした20代でしたがある時、心体共に消耗し尽した我が姿を自覚することとなりました。

までの、そして今後の自分の在り方について考える時を迎えました。自身から紡ぎ出すメロディーに言葉のせて歌いたい、という思いを募らせていたのです。日々の仕事に追われ、後回しにしてきた夢でした。そして再び、とても不思議で有難いご縁で20年振りに素晴らしいアレンジヤーと再会し、オリジナル曲を中心にしたアルバム制作を開始させて頂く運びとなりました。「人生何を始めのにも遅過ぎることはない。直感を大切に、挑戦したいと思うことがあるなら今、行動に移せばよい。」という言葉が胸に秘め、新たな挑戦を始めます。2016年冬には音楽生活30年の思いを込めたアルバムをお届けさせて頂く予定でございます。また、2015年より、素晴らしいアーティスト原田真二氏と共演させて頂き、多くの事を学ばせて頂いております。時間、御縁を大切に精進して参ります。

そんな折、不思議なご縁で幼少の頃からの憧れのシンガーにお目に掛かり、シンプルですが私にとっては啓示的ともいえるアドバイスを頂いたのです。そして2か月後にはカリフォルニアでの留学生活を始めました。その後5年を過ごし、10年程はアメリカと神戸を行ったり来たりの日々を過ごしておりました。その後3枚のアルバムを制作、ライブ活動を精力的に続けておりました。これが、再び、ふと立ち止まり、これ



役員一覽

平成28年6月1日現在

元会長 北野泰成(中13)
木下正一(中18)
前会長 山口勝英(高15)

会長 大西壯司(高21)

副会長 多木有一(高21)
藤本陽一(高24)
土屋光世(高27)
大庫隆夫(高28)
大西淳滋郎(高29)
黒田昌宏(高37)

会計内藤三恵(高12)
宮宅勇二(高24)

会計監査 泉正紀(高25)
吉田実盛(高32)

書記 榊真由美(高33)
山本鉄平(高45)

校内幹事 松中泰幸(高30)
井上浩義(高30)
松下博昭(高35)

校長 安本直

事務長 森俊雄

事務局 古川千恵子(高30)

総務委員 畑谷辛一(高3)
籠谷紘義(高13)
松崎正俊(高14)
大庫俊介(高19)
仲上常幸(高19)
宮宅勇二(高24)
○北野砂恵子(高29)
◎鈴木利信(高31)
宮本順子(高31)
小林尚美(高32)
佐野さとみ(高33)
榊真由美(高33)
○坂田亨(高35)
鹿間聖(高41)
川崎万理子(高41)
藤本准一(高43)
山本鉄平(高45)

文化委員 西村義富(高第2)
穴田滋子(高7)
菅野正子(高13)
○岩坂純一郎(高20)
川西幹雄(高20)
網谷純子(高21)

久保一人(高22)
◎末澤正臣(高30)
佐野裕美(高30)
西川陽子(高30)
大竹恭子(高30)
玉野ますみ(高30)
小林直樹(高33)
○岡崎美和子(高33)
阿野康子(高39)

体育委員 能田達三(高12)
藤原真理子(高20)
石堂求(高22)
福岡照文(高23)
○三村浩之(高24)
梅谷誠一(高24)
◎井岡徳多郎(高28)
○坂下雅一(高29)

(◎は各委員会の委員長)
(○は副委員長)



<地域支部>

- 東京支部
松井昭憲(高30回)
横浜市 [redacted]
- 奈良支部
板倉敬則(高18回)
奈良市 [redacted]
- 大阪支部
山本俊輔(高25回)
加古郡稲美町 [redacted]
- 稲美支部
福田恒夫(高10回)
加古郡稲美町 [redacted]
- 明石支部
森本真一(高21回)
明石市 [redacted]
- 姫路支部
平田建喜(高19回)
高砂市 [redacted]

<職域支部>

- 県庁支部
藤田隆司(高25回)
明石市 [redacted]
- 神戸教職員支部
松井勝美(高24回)
明石市 [redacted]



年次幹事一覽

平成28年6月1日現在

小村修次(中5)	菅野正子(高13)	新田順子(高29)	今井甲二郎(高42)	東達也(高57)
糟谷一郎(中8)	堀井扶佐子(高13)	松下正明(高29)	掛川佳世子(高43)	大滝掬(高57)
井澤一勝(中13)	竹内和弘(高14)	末澤正臣(高30)	宮本雅之(高43)	前田瑠依(高57)
北野泰成(中13)	松崎正俊(高14)	西岡拓代(高30)	井上智史(高44)	稲岡孝介(高58)
岩本泰三(中14)	三宅隆宏(高14)	川口和代(高31)	岡本賢裕(高44)	馬谷昌代(高58)
武田秀男(中14)	住友義男(高15)	佐伯明子(高31)	筒井利典(高44)	藤村泰仁(高58)
長谷川和夫(中17)	福田嘉子(高15)	鈴木利信(高31)	田中かおり(高45)	平郡陽子(高58)
神吉稔(中18)	水埜安寛(高15)	玉奥満(高31)	高塚香織(高45)	大西賞尚(高59)
高倉幸七(中18)	山口勝英(高15)	沼田勝彦(高31)	原田かおり(高45)	籠谷真奈(高59)
粕谷衛(中19・20)	山崎朝美(高15)	大西賞典(高32)	北條俊正(高45)	島津高英(高59)
釜江侃(中19・20)	大下一興(高16)	岸本真弓(高32)	正木一行(高45)	城麻衣子(高59)
金川俊成(高1)	清田康之(高16)	林和也(高32)	山本鉄平(高45)	井上紗和子(高60)
永井万介(高2)	小林弘子(高16)	劉美鈴(高32)	岸本敏英(高46)	尾上馨(高60)
釜谷研造(高第2)	小山美知代(高16)	池澤文隆(高33)	中塚佳子(高46)	山本明日美(高60)
畑谷芋一(高3)	田中靖子(高16)	沢田裕美子(高33)	松林勲(高46)	松尾弘毅(高60)
長田和久(高第3)	田村明(高16)	新濱大平(高33)	大森達也(高47)	木村拓也(高61)
田中愛子(高4)	松尾勝良(高16)	田中章子(高33)	吉村博隆(高47)	高橋亜希(高61)
藤田勇(高4)	前田干城(高17)	名定啓介(高33)	赤江泰介(高48)	豊田成隆(高61)
内山慶人(高5)	三宅英璋(高17)	西山和仁(高33)	待鳥繁隆(高48)	原佳織(高61)
鷺澤素子(高5)	森岡史朗(高17)	後藤昌之(高34)	本岡文亜(高48)	穠山隼也(高62)
渋谷春之輔(高5)	永井一(高18)	成定淳子(高34)	魚屋由美(高49)	來住翔太(高62)
菅原啓文(高5)	清水賢二(高19)	水埜正彦(高34)	藤原良(高49)	杉田耕介(高62)
石原謙一(高6)	仲上常幸(高19)	釜谷泰造(高35)	安田薫(高49)	三木原良輔(高62)
坂田雅文(高6)	岩坂純一郎(高20)	小山三佳(高35)	家氏純子(高50)	新田薫(高63)
西海郁雄(高6)	藤原真理子(高20)	加古武史(高36)	妙中いつか(高50)	西田早織(高63)
西谷正(高6)	北条雅紀(高21)	小嶋志之(高36)	北江直樹(高50)	蓬萊翔吾(高63)
穴田滋子(高7)	石堂求(高22)	野上稔(高36)	森本龍介(高50)	菅藤理也(高64)
立花幸子(高7)	山崎敏美(高22)	藤城奈律枝(高36)	河田直子(高51)	佐伯直澄(高64)
藤原義昭(高7)	金川種弘(高23)	新井睦美(高37)	澁谷恒一(高51)	野田葵(高64)
前田正(高8)	林郁朗(高23)	黒田昌宏(高37)	長澤達朗(高51)	松本悠希(高64)
吉田洋子(高8)	岩本善典(高23)	長谷川哲也(高37)	原敏生(高51)	永井翔龍(高65)
磯野達(高9)	小林達子(高24)	田中勇一(高38)	小阪田泰子(高52)	正川みのり(高65)
上田佳子(高9)	三村浩之(高24)	初瀬富美子(高38)	荻野心平(高52)	見塚圭一(高65)
十倉茂明(高9)	安田しをり(高24)	片山憲一(高38)	柏井康彦(高52)	米田奈生(高65)
内藤美栄子(高9)	衣笠仁浩(高25)	別所眞(高39)	林郁子(高52)	伊賀優花(高66)
大辻利弘(高10)	小林孝子(高25)	松井亜希子(高39)	川田直寛(高53)	木村雄亮(高66)
神吉賢一(高10)	沢田敏郎(高25)	三谷佳裕(高39)	堰本愛(高53)	千歳吾朗(高66)
長谷川好一(高10)	山本普子(高25)	西川隆博(高40)	中山智裕(高53)	津村海謡(高66)
福田恒夫(高10)	下村浩司(高26)	堀井信明(高40)	桑野浩(高54)	池野和之介(高67)
内田明美(高11)	畠房生(高26)	前田恵美(高40)	西田寛(高54)	坂本晴輝(高67)
後藤太原磨(高11)	本岡茂範(高26)	頼洋理子(高40)	藤井美穂(高54)	中村遥佳(高67)
土師さか糸(高11)	浅場知洋(高27)	米今智子(高41)	井上祐輔(高55)	三好菜月(高67)
原雅子(高11)	網干美保(高27)	澤山和博(高41)	中原初実(高55)	南奈緒(高68)
阿江縫子(高12)	上野均(高27)	羽沢哲朗(高41)	砂川祐子(高55)	吉田篤史(高68)
長谷川募(高12)	井岡徳多郎(高28)	矢能ますみ(高41)	庄司博美(高56)	溝口真梨奈(高68)
松田欣治(高12)	松本高亮(高28)	生田聡(高42)	門地あゆみ(高56)	遠藤由基(高68)
山口久子(高12)	森本幸吉(高28)	坂本佳恵(高42)	八木勇磨(高56)	
籠谷紘義(高13)	城伸幸(高29)	吉井妙(高42)	田中章浩(高56)	



2016年度入試概況

2016年度センター試験の志願者数は56万3,768人(昨年55万9,132人・前年比100.8%)、本試験の外国語受験者数も53万636人(昨年52万4,211人・前年比101%)といずれもわずかに増加しました。

大学入試センターが発表した志願者数の現卒別の内訳をみると、現役志願者数は昨年の45万5,392人から46万2,335人と6,943人増加(前年比101%)しました。18歳人口の減少により、この3月に卒業する高校生の数は減少が見込まれています。そのなかで、センター試験の志願者数が増加しているのは、大学志願率もしくはセンター試験の利用率が上昇しているからと考えられます。国公立大で推薦・AO入試にセンター試験の成績を利用する大学が増加していることも要因でしよう。

一方、既卒生志願者数は、昨年の9万7,728人から9万4,454人と2,274人減少(前年比97%)し、対照的な動向となりました。

文系は、化学基礎が難化したものの、国語、日本史B、地学基礎が易化した影響から平均点上昇につながりました。7科目文系型生の成績分布を見ると、500点付近(得点率6割弱)から増加が見られます。とくに旧帝大を中心とした国立難関大合格の目安となる8割以上の成績層は前年比116%と大きく増加しています。

理系は国語の平均点上昇がありましたが、受験者の多い物理、化学で

平均点がダウンしたことが影響しました。7科目理系型生の成績分布は、文系型とは対照的に分布は下位にシフトし、得点率8割以上の高得点層は約1割減少しています。

文系では、特に「法・政治」「経済・経営・商」の社会科学系がいずれも4%増と人気が高まっています。教育学部の「総合科学課程」の出願予定者が前年比69%と大きく減少しているのは、15の大学で廃止となる影響によるものです。

難関10大学(北海道・東北・東京・東京工業・一橋・名古屋・京都・大阪・神戸・九州)全体では、前期日程は153人増(前年比100.3%)となりました。それ以外の国公立大学では志願者数が減少しており、これら難関大は堅調な人気を維持しているのを見てよいでしょう。志願者の増加率が高かったのが、神戸大、九州大です。近年、両大学は志願者数が減少基調を示しており、昨春入試においても志願者数が大幅減となりました。今春の増加はその反動と見てよいでしょう。

本校生では、国公立大全体では290(現役217)人が合格しています。難関大では、東京大3(3)、京都大10(7)、大阪大23(16)、北海道大5(2)、名古屋大4(2)、九州大

68回生 進路状況

	進学						就職	予備校等	計
	4年制大学			専門学校	短大	専攻			
	国立	公立	私立						
男	44	45	25				49	163	
女	66	31	58	2	1	1	32	191	
総計	110	76	83	2	1	1	81	354	

最近卒業生大学合格状況(延べ人数)

	平成28年3月		平成27年3月		平成26年3月		平成25年3月									
	68回生		過年度		66回生		過年度									
	男	女	男	女	男	女	男	女								
国立四年制大学	51	69	37	19	92	66	27	6	65	57	46	21	52	43	38	9
公立四年制大学	58	39	10	7	32	29	13	3	23	33	8	7	18	25	6	5
私立四年制大学	154	275	128	46	124	281	90	48	110	261	187	99	70	213	112	45
私立短期大学	0	1	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0
準大学	0	0	1	0	1	0	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0
計	263	384	176	72	249	381	134	57	200	353	241	127	140	285	156	59
	647		248		630		191		553		368		425		215	

3(2)、神戸大25(13)の合格を見ている。また、医学部医学科では、神戸大3(1)、鳥取大2(1)、徳島大1(0)、香川大1(0)と計7人が合格しました。多くの合格者を出したところでは、岡山大33(25)、鳥取大13(10)、兵庫県立大59(52)、大阪市立大10(7)、大阪府立大19(13)が挙げられます。

私立大学では、慶應義塾大8(4)、早稲田大12(5)をはじめ、同志社大62(25)、立命館大63(31)、関西大88(66)、関西学院大145(115)が合格しています。

くわしくは、本校ホームページをご覧ください。

27年度 合唱部の活動

今回、紹介する機会をいただきましたので最近の合唱部の活動をお知らせします。27年度の部員数は3年生3名、2年生6名、1年生3名の12名でした。これでも「やっと2ケタの人数になった」と部員一同喜んで、毎年少ない人数で頑張っています。以前は音楽部という名称で、NHKコンクールなどに参加していた歴史のある部ですが、ここ何年かは人数不足が悩みです。すぐれた吹奏楽部が多い加印地区の音楽好きの生徒は、そちらに参加するのかもしれない、本校だけでなく、加古川市内の高校の合唱部はどこも部員が少ない状態です。そのため、いろいろなコンサートには、主に加古川市・東播磨・加古川南・明石・明石西の各高校が東播磨地区高校合同合唱団という形で出演することが増えています。一緒に歌うことで、大人気で歌う合唱の楽しさと、他校の生徒たちとの友情を得られ、また、他校の顧問の先生方の歌唱指導を受けることもでき、そのおかげで充実した活動になっていいると思われまます。

27年度の主な活動は以下の通りです。まず5月は校内の文化部発表会で演奏、次に兵庫県立考古博物館で「はりまミュージックカーニバル」に出演。バイオリンが弾ける部員がいたので、それを加えた演奏や、ミュージカル「天使にラブソング」からの曲が好評でした。6月に兵庫県合唱祭、8月はNHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会のフリー参加部門と兵庫県合唱コンクールに参加。11月の総合文化祭では、東播磨地区

連合同合唱団として、また加古川西高との合同演奏で出演。11月21日には、加古川市民会館で「森はな先生からのメッセージ」という公演に加古川市内の高校・中学の生徒と共に出演しました。加古川市にゆかりのある児童文学者森はなの「じろはったん」という作品を音楽劇にしたもので、戦時中の知的障害のある青年と村の子どもたちとの交流が描かれた物語と生徒たちのパフォーマンスは観客の涙を誘い、朝日新聞紙上でも好評でした。この経験で、一緒に作品を作る楽しさを覚えた東播磨地区の生徒たちは、「あらしのよるに」という物語を自分たちで音楽劇にしよう」と企画。脚本を自分たちで書き、使用曲を選び、翌年3月の加古川混声合唱団の演奏会と加古川西高のファミリーコンサートの披露しました。12月には毎年恒例の考古博物館での「高校生によるクリスマスコンサート」と加古川市内の男声合唱団「風のクリスマスコンサート」に出演。

このように、少数ながら美しい響きという評価を得て1年間多くの外部出演をさせていただきました。ちなみに入学式で合唱部が校歌披露をしています。28年度の入学式では、部員を安本校長先生に歌って頂き、念願の混声四部で歌うことができました。



平成27年度 清流会表彰者

1.学校内での活動

(ア)部活動において優秀な成績を収めた者(計 17名)

①運動部：県大会3位以上の個人またはチーム(エントリー人数分)

陸上競技部(4名)

組	氏名	顕彰内容
3-3	松本 尚也	第68回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会 男子110mH 第1位
3-3	中谷 友哉	第65回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 1年男子棒高跳 第2位
3-7	藤原 和輝	第65回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 男子4×400mR 第1位
3-7	長谷川彰大	

②文化部：運動部に準ずる

地学部(11名)

組	氏名	顕彰内容
3-1	赤塚 千春	・日本地球惑星連合2015年大会 高校生セッション 研究発表 優秀賞
3-1	坪井 理紗	・筑波大学第10回「科学の芽」賞 努力賞 「加古川市域の流紋岩に見られる円構造の成因」
3-1	河内 遥	・神奈川大学全国高校生理科・科学論文 優秀賞(本になり出版)
3-3	西田 夏華	「凝灰岩の性質の相違によるカルデラ湖形成の推定」
3-5	山本 彩楓	・日本地質学会第121年大会学術大会 奨励賞 「地元凝灰岩長石・高室石・竜山石の性質の相違による堆積環境の推定」
3-1	木下真由美	
3-1	小寺 星来	第70回日本物理学会 Jr.セッション 研究発表 奨励賞 「粉体時計の実現及びメカニズムの追求」
3-1	阪口 友深	
3-1	中川 潤哉	・平成26年度兵庫県総合文化祭自然科学部門物理分野 口頭発表の部 優秀賞
3-2	阿江 俊明	・第30回 宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS) 研究発表 英語発表 (論文審査により、選考されての発表。唯一の高校生チーム。)
3-2	紙谷 康平	・平成27年度 全国SSH生徒研究発表会 学校を代表しての全国大会発表者 「Using mineral scale to control water in microgravity」

放送部(2名)

組	氏名	顕彰内容
3-7	溝口真梨奈	NHK杯 全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 制作奨励賞(H27)
3-8	奥田木の実	NHK杯 全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門 制作奨励賞(H26)

(イ)本校生として範となる生徒(1名)

組	氏名	顕彰内容
3-1	椿野 蒼	サッカー部主将として部員をよくまとめ、周囲からの信頼も厚い。公式戦においても優秀な成績を残した。特に平成26年度兵庫県高等学校サッカー新人大会では強豪校に勝利し5位となった。この大会で優秀選手賞を受賞している。また、部活動以外でも、課題研究では「ブラナリアの増殖と環境条件」について研究し、兵庫県立大学で行われた校外研修への参加や、岡山大学で行われたジュニア農芸化学会で成果を発表した。

計 18名。



母校の人事異動

■退職された方々

教諭 伊藤 彰洋

理科 本校非常講師

教諭 谷 正人

数学 本校再任用

臨時講師 牧野 真幸

保健体育 本校非常講師

■離任された方々

教諭 藤原 昌明

数学 明石清水高等学校へ

教諭 田坂 昌彦

保健体育 神戸甲北高等学校へ

教諭 森鼻 崇文

保健体育 県教委体育保健課

(指導主事)へ

教諭 上田多江子

情報 神戸北高等学校へ

教諭 松岡 亨

理科 兵庫工業高等学校へ

教諭 高木 雄也

保健体育 社高等学校へ

臨時講師 藤原 章子

理科 夢前高等学校(教諭)へ

臨時実習助手 三林 裕佳子

滝川第二中学校高等学校へ

主査 木村 礼子

加古川北高等学校へ

主査 山本 真幸

播磨西教育事務所へ

■着任された方々

教頭 松中 泰幸

姫路北高等学校 教頭より

教諭 永光 弘明

理科 加古川南高等学校より

教諭 高野 智之

保健体育 飾磨工業高等学校より

教諭 山本 大介

保健体育 武庫荘総合高等学校より

教諭 藤井 寿雄

情報 舞子高等学校より

教諭 西川 賢一

数学 伊和高等学校より

教諭 八木 啓介

保健体育 三木東高等学校より

教諭 福迫 徳人

理科 神戸高塚高等学校より

教諭 藤原 聡

理科 新採用

臨時講師 西面 理菜

英語 兵庫県播磨高等学校より

臨時実習助手 菅 彩幸

主査 瀧口 ゆき

いなみ野特別支援学校より

主査 成藤 美智代

明石城西高等学校より

臨時実習助手 徳永 大輔

(加古川東高等学校)

臨時実習助手 Gibbs Cain

(加古川東高等学校)

臨時校務員 北野 義人

(加古川東高等学校)

公益財団法人 青松会から

理事長 水 埜 安 寛
(高15回)



加古川東高
校には、奨学
金の給付事業
を行う公益財
団法人青松会
があります。

青松会は昭和50年に教育振興の要
望に込めて、生徒の就学援助を行
い、その心身の健全な育成を図る
ことを目的に設立されました。

設立以来41年を過ぎ、基本財産
の運用と清流会会員の皆様からの
寄付により、多くの奨学生に奨学
金の給付を行ってまいりました。

公立高校に奨学金の給付事業を
行う公益財団法人は珍しく加古川
東高校は素晴らしい高校だと思
います。

元奨学生の皆様から感謝のお手
紙と多額の寄付を頂きました、さ
すが加古川東高校清流会会員と青
松会は奨学金給付事業を続けてい
る事を誇りに思います。低金利の
現在運用益の期待ができないな
か、清流会会員皆様の寄付金によ
るところが大きくなっています。

会員皆様からの寄付金により奨
学金の給付事業が順調に行われ
ています。

より多くの清流会会員の皆様に
青松会を知って頂き、加古川東高
校生徒の輝く未来のために、更な

るご支援をお願いして、同窓会報
(清流)に掲載させて頂いていま
す。
青松会は公益財団法人青松会の認
定を兵庫県より受けています。
公益財団法人青松会に対する寄付
は、個人が確定申告を行う場合、所
得税法上寄付金控除の対象になりま
す。

公益財団法人青松会 役員

平成28年7月1日

理 事 長	水埜安寛 (高15)			
副理事長	大庫俊介 (高19)	岡田義則 (高23)		
専務理事	山田拓史 (高13)			
理 事	泉 正紀 (高25)	坂田克己 (高36)	藤本陽一 (高24)	
	松尾将勝 (高27)	水埜 浩 (高33)	森本幸吉 (高28)	
	吉田実盛 (高32)	脇谷政孝 (高33)		
監 事	渋谷 哲 (高18)	三宅隆宏 (高14)		
評 議 員	大西壯司 (高21)	加古武史 (高36)	籠谷紘義 (高13)	
	釜谷研造 (高2)	十倉茂明 (高9)	富田鍬哉 (高8)	
	宮宅勇二 (高24)	山口勝英 (高15)	吉山 徹 (高15)	
	安本 直 (東高校長)			



平成28年度 清流会総会のご案内

恒例の総会が近づいてきました。会員であればどなたでも参加可能です。お誘い合わせのうえご出席くださいますようご案内申し上げます。

日 時 平成28年8月7日 (日)
11:30~ (受付 11:00~)

会 場 加古川プラザホテル

電 話 079-421-8877

会 費 6,000円

次 第 総会、講演 高30回岸本健利氏 (ニッカウキスキー社長)、懇親会

- ◎ご出席の方は同封のハガキで7月28日までにご返信ください。
- ◎総会の席で白寿・米寿・傘寿・古稀・還暦のお祝いをしております。中8・中19・20回、高8回、高18回、高27回の該当の方々はずいぶんご出席ください。
- ◎総会前の10時から、支部長懇親連絡会を開催しますのでご出席をお願いいたします。

第16回清流会会員美術小品展のご案内

清流会会員美術展は隔年開催です。
この機会に是非ご覧ください。

- と き：平成28年8月6日 (土) 午後1時~午後5時
8月7日 (日) 午前9時半~午後4時
- と ころ：加古川商工会議所 1階展示ホール
(総会会場の加古川プラザホテルと同じ建物内です)
- 入場無料

